

「Well-being（幸せ）を保障する教育」の実現を目指して

# 学びの道しるべ

～「令和6年度さいたま市学習状況調査」の結果より～

「令和6年度さいたま市学習状況調査」の結果について、お知らせします。御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」と併せて、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（中・中等教育学校版）



全国学力・  
学習状況  
調査について

国立教育政策研究所ホームページ



さいたま市  
学習状況  
調査について

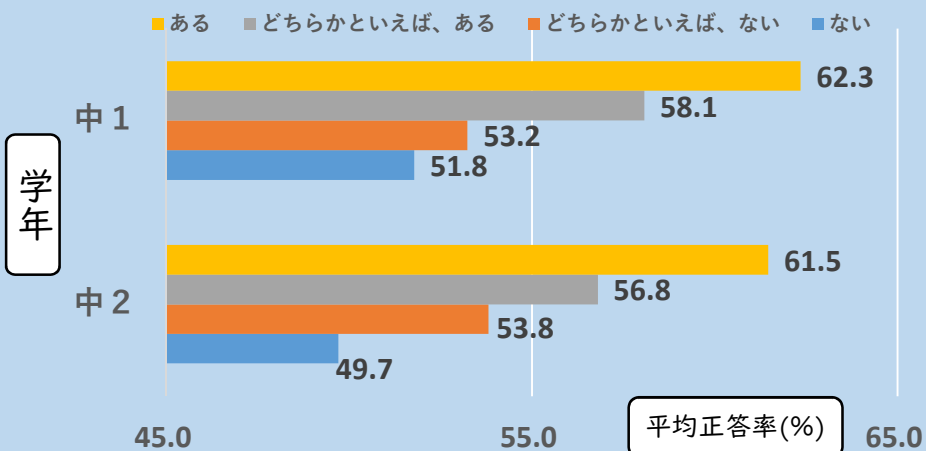
さいたま市立教育研究所ホームページ

## 「生活習慣等に関する調査」の結果より



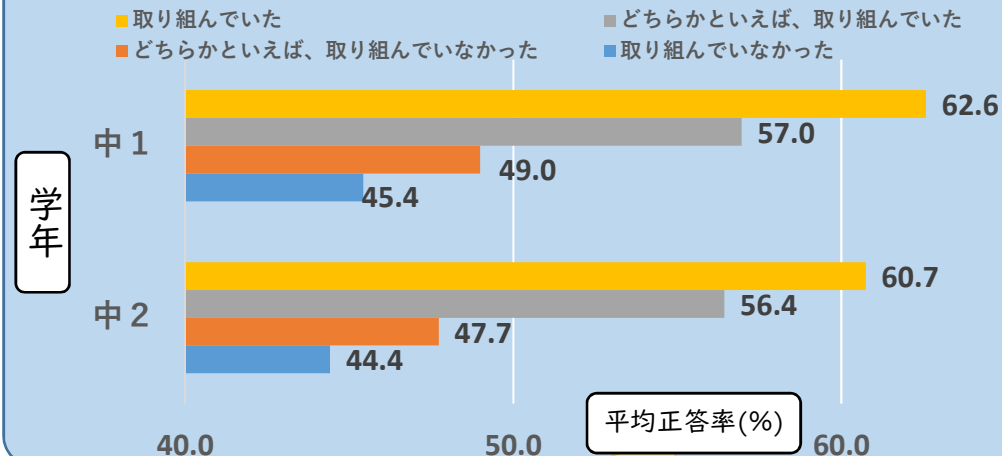
「教科に関する調査」の結果（正答率）と関係がありそうな調査結果を探してみましょう。

質問調査「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の回答の状況と「教科に関する調査」の結果（正答率）のクロス集計では、以下のような結果が示されました。



地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある生徒ほど正答率が高くなる傾向にある！

質問調査「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の回答の状況と「教科に関する調査」の結果（正答率）のクロス集計では、以下のような結果が示されました。



課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒ほど正答率が高くなる傾向にある！

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があり、課題の解決に向けて自分で考えて取り組む生徒ほど正答率が高くなる傾向になることから、「問題発見・解決能力」がキーワードと言えます。文部科学省が「学習の基盤となる資質・能力」の1つとしている、この能力と関連する「教科に関する調査」の出題を見てみましょう。



裏面へ

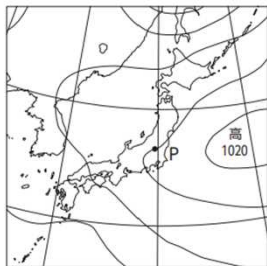
# 「教科に関する調査」の出題より

## 例題 令和6年度調査問題 中学校2年理科 大問1より抜粋

各教科において「問題発見・解決能力」の育成が目指されています。ここでは、仮説に対して、観測データを基に検証する力を問う理科の調査問題を例に取り上げます。

1 あかりさんとはるとさんの学校は、次の天気図のP地点にあります。

天気図



空のようすを撮影し、観測データと関連付けて、天気の変化について調べました。

(3) 次の表2は、はるとさんが撮影した飛行機雲の様子をまとめたものです。

はるとさんとあかりさんは、表2を見ながら、先生と話しました。

表2

日時	10月1日13時	10月15日13時
写真		
飛行機雲	すぐ消えた	長く残った

(写真: kinpouge・Arichan / PIXTA)



日によって、飛行機雲がすぐ消えたり、長く残ったりします。なぜだろう。

はるとさん



飛行機雲の残り方は、湿度と関係していると考えます。



飛行機雲を撮影した日時の百葉箱の観測データは、次のようになっていました。

百葉箱の観測データ

日時	10月1日13時	10月15日13時
気温(℃)	21.5	20.3
湿度(%)	61	61

私は、この観測データから、「湿度は関係していない」と考えます。

あかりさんの下線部の考えに対して、どのように判断することが最も適切ですか。次のア～エから1つ選びなさい。

ア 観測データの気温が異なるので、「湿度は関係していない」と言える。

イ 観測データの湿度が等しいので、「湿度は関係していない」と言える。

ウ 湿度が異なる他の日を調べないと、「湿度は関係していない」とは言えない。

エ 飛行機雲の高さの湿度を調べないと、「湿度は関係していない」とは言えない。

飛行機雲は、燃料の燃焼でできた水蒸気が凝結したものです。このことから何が関係していると考えますか。



先生

百葉箱の高さでは2つの日時における湿度が同一でも、飛行機雲の高さで湿度が異なるのであれば、飛行機雲の残り方と湿度の関係を否定することはできません。よって、答えはエとなります。仮説を検証する方法を考えられること、その際どのようなデータを根拠とすればよいか判断できることが重要です。

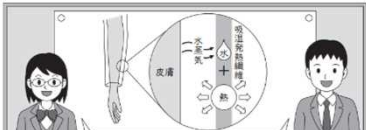


## 類題 出典:『令和4年度全国学力・学習状況調査 中学校理科 調査問題』

7 水の状態変化について科学的に探究したことを、2つのグループが理科の授業でポスター発表しています。

(1)と(2)の各問に答えなさい。

グループ2 水蒸気が水になるときの温度変化



水が水蒸気になるとき、熱をうばうため、温度が下がります。

水蒸気が水になるときは、逆に温度が上がるのではないかと考えました。

肌着などに使われている吸湿発熱繊維は、皮膚から出た水蒸気が水に状態変化することで発熱するそうです。

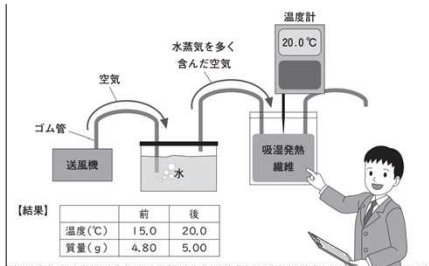
実際に確かめてみました。

### 【課題】

水蒸気が水に状態変化することで、吸湿発熱繊維は発熱するか。

### 【実験】

- 下の図の装置で、水蒸気を多く含む空気を吸湿発熱繊維に通す前後で、温度が上昇するか確かめる。
- 実験の前後で吸湿発熱繊維の質量が大きくなるか調べることで、水蒸気が水に状態変化したか確かめる。



【結果】	前	後
温度(℃)	15.0	20.0
質量(g)	4.80	5.00

### 【考察】

【結果】から、水蒸気が水に状態変化すると、吸湿発熱繊維は発熱すると考えられる。



私は、この実験だけでは、その【考察】のように判断できないと考えます。

(2) 下線部に対して、どのように考えることが最も適切ですか。下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- この実験だけで【考察】のように判断できる。
- この実験だけでは【考察】のように判断できないので、乾燥した空気では発熱しないことを確かめる必要がある。
- この実験だけでは【考察】のように判断できないので、水蒸気の量を多くして、温度がさらに上昇することを確かめる必要がある。
- この実験だけでは【考察】のように判断できないので、吸湿発熱繊維の量を多くして、温度がさらに上昇することを確かめる必要がある。



仮説や考察をどのように検証すればよいか、その方法を自分で考えることができれば、いつでも「自由研究」をして学びが深められるね!

今年度のさいたま市学習状況調査から、左にある類題のような「おかわRe:(り)チャレンジ(復習用類似問題)」にL-Gateで取り組むことができるようになったよ! 「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」を見て、自分の学習の成果と課題を確かめながら、チャレンジしてみよう!



【図説】  
習得